

地球科学輻合ゼミナール

(2011年度 前期 第7回)のご案内

東北地方太平洋沖地震にともなう広義の余震活動

遠田 晋次

京都大学防災研究所 地震予知センター

同巨大地震によって5月28日現在(78日間)までにM5以上の余震が527個, M6以上の余震が87個発生した. これらは, 長さ500 km x 幅200 kmと推定される震源断層沿いのみならず, 周辺域にも広く分布する. 震源から200km以上も離れた秋田沖, 長野県北部, 静岡県西部でもM6規模の地殻内地震が続発した. また, 茨城・福島県境付近では, 本震前には想像もしなかった正断層型の浅い地震が多発している. 本発表では, 誘発地震をも含めた『広義の余震』活動と本震による列島内の断層への応力変化との関係をまとめ, 今後の地震活動の展開について議論する.

6月8日(水) 午後4:30~午後6:00

場所: 理学研究科6号館 303号室